

1 日常の学習状況・課題について

- (1) 約8割の生徒が教員の説明をわかりやすいと回答しているが2割の生徒がわかりにくいと回答している。2割の生徒にもわかりやすく説明が伝わるように対策が必要。
- (2) 解く問題が少なかったと約5割の生徒が回答している。技術科の問題に慣れることができず、定期試験での点数の下降が予測されるので対策が必要。
- (3) 授業の進むはやさが、はやいと回答した生徒が約6割いた。このことから、授業の内容を理解し切れていない生徒が多くいると考えられるので改善が必要。
- (4) 約7割の生徒が板書がわかりやすいと回答しているが、残り2割の生徒には、わかりづらく伝わっていない内容もあるため、板書計画の見直しが必要。

2 改善の計画

- (1) 学習面
 - ① 定期的に小テストなどを行い、技術科の問題に慣れさせる。
- (2) 指導面
 - ① 作業の説明方法の改善として、タブレットに資料の配布や映像の活用など、すべての生徒に確実に説明が伝わる方法を取り入れるようにする。
 - ② 授業の進むはやさに関しては、1回の授業で行う課題の量を晴らすなどして対応する。しかし、物足りない生徒もいることが予想されるので、複数課題を用意しておく。
 - ③ 板書計画を毎授業一度実際に書き、生徒に見やすいか検証する。また、プリントの内容も配布前に読み検証する。

3 プランの評価方法

- (1) 期末考査の結果で判断する
- (2) 学期末に授業アンケートを行い同じ項目と比較検討する。